

令和元年における労働災害発生状況

令和元年11月末現在

北海道労働局労働基準部安全課

業種別労働災害発生状況 その2

平成31年1月1日～令和元年11月30日

北海道労働局

「上記以外の事業」の内訳

業種別	令和元年			平成30年			対 前 年		業種割合 (%)	平成30年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死 亡	休業	合計
農業	2	107	109	2	94	96	13	13.5	2.0	2	109	111
畜産業	3	212	215	1	219	220	-5	-2.3	4.0	1	266	267
金融・広告業		40	40		44	44	-4	-9.1	0.7		57	57
映画・演劇業		1	1		5	5	-4	-80.0	0.0		5	5
通信業		116	116		127	127	-11	-8.7	2.1		161	161
教育・研究業		56	56		35	35	21	60.0	1.0		52	52
保健衛生業		484	484		457	457	27	5.9	9.0	1	615	616
接客・娯楽業	4	308	312	1	313	314	-2	-0.6	5.8	1	393	394
その他の事業	1	213	214	3	226	229	-15	-6.6	4.0	3	281	284
合計	10	1,537	1,547	7	1,520	1,527	-20	1.3	28.7	8	1,939	1,947

「第三次産業」の内訳

業種別	令和元年			平成30年			対 前 年		業種割合 (%)	平成30年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死 亡	休業	合計
商業	3	781	784	5	818	823	-39	-4.7	14.5	7	1,019	1,026
うち 小売業	2	627	629	4	675	679	-50	-7.4	11.7	6	841	847
金融・広告業		40	40		44	44	-4	-9.1	0.7		57	57
映画・演劇業		1	1		5	5	-4	-80.0	0.0		5	5
通信業		116	116		127	127	-11	-8.7	2.1		161	161
教育・研究業		56	56		35	35	21	60.0	1.0		52	52
保健・衛生業		484	484		457	457	27	5.9	9.0	1	615	616
うち 社会福祉施設		347	347		327	327	20	6.1	6.4	1	447	448
うち 医療保健業		120	120		115	115	5	4.3	2.2		149	149
接客・娯楽業	4	308	312	1	313	314	-2	-0.6	5.8	1	393	394
うち 飲食店		123	123		123	123			2.3		160	160
うち 旅館業	2	83	85		82	82	3	3.7	1.6		109	109
うち ゴルフ場	2	40	42	1	54	55	-13	-23.6	0.8	1	60	61
清掃・と畜業	1	352	353	3	295	298	55	18.5	6.5	3	363	366
その他の事業	1	213	214	3	226	229	-15	-6.6	4.0	3	281	284
うち 警備業		48	48	2	47	49	-1	-2.0	0.9	2	57	59
合計	9	2,351	2,360	12	2,320	2,332	28	1.2	43.7	15	2,946	2,961

平成31年1月1日～令和元年11月30日

北海道労働局

(注) 本統計は死傷被害報告による死傷件数である。上段は前年、下段は当年である。

令和元年(平成31年) 林業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
31	3	15時台	林業	10人以上 29人	激突され	環境等 712	民有林皆伐現場において、胸高直径28センチ、長さ約17mのトドマツをチェーンソーで伐倒作業中、くさびを打って伐倒木が倒れていくときに、蔓が上部で絡んでいた為に、伐倒方向が変わり、近くで同じチェーンソー伐倒作業中の被災者の頭部に直撃したものの。
31	4	11時台	林業	10人以上 29人	激突され	環境等 712	被災者は、民有林内にて同僚1名とともに、チェーンソーを用いて伐木作業を行っていた。被災者が扱っていたチェーンソーの音が聞こえなかったため同僚が捜索したところ、仰向けの状態でクルミの木(胸高直径30cm)の下敷きになっているところを発見したものの。
元	5	15時台	林業	10人以上 29人	交通事故(道路)	乗物 232	被災者は、道有林の造林現場で当日の作業を終え、帰社するため乗用車で国道を走行していたところ、右側の町道から飛び出してきた来た乗用車が運転席に衝突したものの。なお、助手席の同僚は軽傷。
元	5	14時台	林業	10人以上 29人	激突され	環境等 712	民有林の皆伐作業現場において、被災者はチェーンソーを用いて伐倒作業中、ナナカマドの木を伐倒したところ、当該伐倒木が被災者側に倒れてきて、被災者の腹部に激突したものの。被災者に激突した伐倒木の胸高直径は18.5cm、樹高16.6mであった。また、伐根に切り残しは無かった。
元	6	14時台	林業	10人未満	墜落・転落	乗物 232	国有林の間伐作業現場において伐倒作業を行うための道付け作業中、被災者2名が事前調査のため乗用車に乗り林道を走行していたところ、幅約4mの緩やかな左カーブに差し掛かった際、当該車両が道路右脇に逸脱し勾配約50°の崖を約47m転落したものの。被災者は車外に投げ出され、斜面の中腹と転落した車両の脇でそれぞれ倒れているところを下請事業場の労働者に発見された。(被災者は、車両を運転していた。)
元	6	14時台	林業	10人未満	墜落・転落	乗物 232	同上 (被災者は、助手席に同乗していた。)
元	7	15時台	林業	10人未満	墜落・転落	伐木等機械 171	被災者は、国有林内において、掘削バケットが付いた車両系木材伐出機械(伐木等機械/フェラーパンチャ)を操作して、支障木を伐倒しながら作業道の造成作業を行っていたところ、勾配約40度の斜面から機械ごと20m程滑り落ち、転落したものの。 被災者は地面と機械のキャビンにはさまれた状態で発見された。

北海道内の林材業における労働災害の発生状況

1 平成10年以降の年別労働災害発生状況一覧(確定値)

区分	林業			木材木製品製造業			道内全産業		
	死亡	休業	計	死亡	休業	計	死亡	休業	計
平成10年	8	221	229	5	416	421	117	8,707	8,824
平成11年	8	242	250	2	338	340	132	8,087	8,219
平成12年	5	186	191	1	348	349	128	8,124	8,252
平成13年	6	197	203	2	285	287	128	8,058	8,186
平成14年	7	193	200	3	297	300	136	7,691	7,827
平成15年	7	203	210	1	235	236	99	7,356	7,455
平成16年	5	219	224	3	226	229	118	7,716	7,834
平成17年	11	192	203	3	226	229	105	7,466	7,571
平成18年	6	163	169	1	197	198	93	7,594	7,687
平成19年	5	178	183	1	222	223	90	7,372	7,462
平成20年	8	149	157	3	158	161	81	6,770	6,851
平成21年	1	157	158	1	137	138	69	6,322	6,391
平成22年	11	147	158	0	145	145	94	6,392	6,486
平成23年	5	120	125	1	160	161	65	6,357	6,422
平成24年	4	125	129	0	129	129	83	6,347	6,430
平成25年	4	112	116	0	111	111	64	6,644	6,708
平成26年	4	116	120	0	126	126	63	6,314	6,377
平成27年	4	98	102	0	106	106	65	6,503	6,568
平成28年	5	120	125	0	107	107	77	6,537	6,614
平成29年	5	94	99	0	115	115	81	6,595	6,676
平成30年	6	84	90	1	117	118	63	6,773	6,836

2. 平成31年11月の労働災害発生状況

区分	林業			木材木製品製造業			道内全産業		
	死亡	休業	計	死亡	休業	計	死亡	休業	計
11月中の発生件数	0	6	6	0	6	6	6	580	586

3 前年(平成30年)同期との比較表

区分	林業			木材木製品製造業			道内全産業		
	死亡	休業	計	死亡	休業	計	死亡	休業	計
30年11月末の発生累計	6	72	78	1	96	97	57	5,488	5,545
31年11月末の発生累計	7	81	88	0	79	79	52	5,346	5,398
対前年同期増減数	1	9	10	▲1	▲17	▲18	▲5	▲142	▲147